

献血は大切 でも…

どう考える？

高校生の 集団献血

パート2

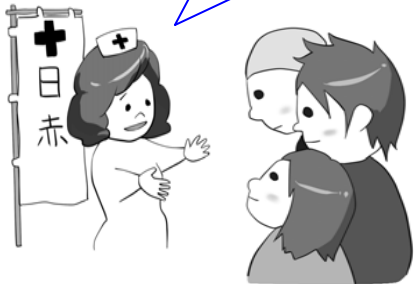
みんなする
って言うし
なあ…



献血したら何が
もらえるかな？
表彰されるかな？



大人になっても
献血に協力して
わ



【私たちの考え】

私たちは、献血は人々の生命と健康を守る上で重要な意義があるものだと考えます。しかし、子どもたちの生命と健康を守る立場から、心も身体も発達段階にある高校生への集団献血には反対です。子どもたちが、将来、主体的に自己の健康管理をしながら、自主的判断のもとに自発的な献血ができるようになることが大切であり、そのための教育こそが必要だと考えます。

【私たちの要求】

- ①高校生の集団献血を廃止すること
- ②「16歳からの献血」の廃止、400ml 献血の採血年齢を引き下げないこと
- ③現行の採血基準を見直すこと
- ④献血された血液がどのように使われているか、血液行政を明らかにし、国の責任のもとに公正な血液事業をすすめること
- ⑤高校生の献血による健康被害や献血事故の実態を明らかにすること

全日本教職員組合(全教)養護教員部は、子どもたちの健やかな成長と健康・安全を願い、献血問題にとりこんでいます。この問題について、みなさんのご意見をお寄せ下さい。

【連絡先】

全国教育文化会館エデュカス東京内
全教養護教員部

TEL 03-5211-0123 (代)

メール zenkyo@zenkyo.org

高校生に体験させて 献血リピーターを増やせるの!?

=高校生には献血体験ではなく、血液・献血に関する学習を!!

学校では…集団献血の実態

最近、若年層の献血離れが進んでいると言われていています。そのような中、「高校での献血体験が将来の献血につながる」と高校生の集団献血をすすめようとする動きが強まっています。

日赤の担当者が県内高校の献血実施一覧表を示し、当然のように献血実施日の回答を求めたり、知事が高校生の集団献血をすすめる立場で年間行事に位置付けるよう通知を出している県もあります。

校内の論議が不十分なまま、学校の中に献血車が入り、授業中に献血が実施されています。(文化祭の企画として実施されている場合も)200ml 献血を希望していた生徒が400ml 献血を求められたなどの問題事例も起きています。

また、献血ルームと異なり、献血時間が終了すると、献血車は次の献血会場に移動してしまいます。安全面にとって重要な、献血後の経過観察が心配です。

献血した高校生は…

厚生労働省は、高校生について、献血後の健康被害の発生状況を把握していません。しかし、実際には、採血時の気分不良や貧血、注射針を刺されたことによるショック症状、採血部の疼痛・腫れ・内出血、採血腕の指先のしびれ、神経損傷など、さまざまな健康被害が発生しています。中には、受診し治療が必要なケースも出ています。また、献血した日や翌日に保健室に吐き気や気分不良、頭痛を訴えてくる生徒もいます。

血液・献血に関する学習を

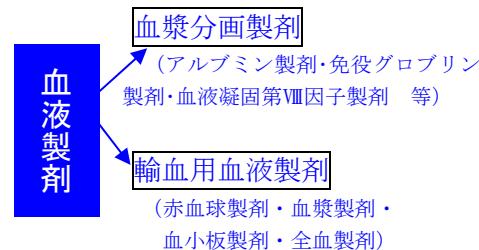
私たちは、教育を行う現場にいます。献血普及のために必要なことは、安易に学校内で献血体験をさせることではなく、血液や献血に関する教育をすることです。

血液の働き、献血の意義、献血事故発生のリスク、献血事業等について理解を深め、自主的判断のもとに自発的な献血ができるようになるための教育こそが必要です。

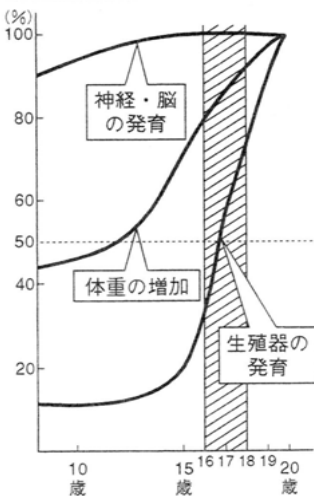


献血された血液の使われ方

200ml 1 献血 400ml 1 献血 成分献血



20歳を100とした時の発育曲線



16歳では早すぎる！

スキヤモンの発育曲線を見ると、10代のからだはまだできあがっていないことがわかります。この時期は急激な発育、発達により、心身のバランスを崩し、自律神経失調や貧血などを起こしやすい時期なのです。

☆高校生の生活実態・健康実態

- ・食事抜き、睡眠不足
- ・思春期貧血の問題

「潜在性鉄欠乏」とは…体内の鉄が不足すると、まず体内の貯蔵鉄（血清フェリチン）が減少し、「**潜在性鉄欠乏状態**」となります。この状態は、自覚症状もなく、貧血ではないので、事前の問診でチェックされず採血されてしまう心配があります。

生徒たちの健康レベルが全体的に落ちてきています。

「寝不足で、朝ごはん食べてこなかったから」

「薬を飲んでいるから」

「体重が足りなかったんです」 などなど

血液の比重が足りないだけでなく、こういう理由からも献血はできないのです。献血に協力したいけれど、できない体になっているケースが最近増えています。

全血採血基準 (2009年5月現在)

	200ml 献血	400ml 献血
1回の献血量	200ml	400ml
年齢	16歳～69歳	*18歳～69歳
体重	男子 45kg以上 女子 40kg以上	男女とも 50kg以上
血液比重量等	血液比重 1.052 以上 または 血色素 12g/dl 以上	血液比重 1.053 以上 または 血色素 12.5g/dl 以上



女子は40kg以上!?
細いけど大丈夫?!

*厚生労働省の審議会において、男子の400ml採血年齢基準を、18歳から17歳へ引き下げることが検討されています。

だいじょうぶ!? 学校での集団献血

学校は教育の場です。献血がおこなわれた後も教育活動が行われています。



- ・体育の授業や機械操作などの注意を要する実習授業
- ・部活動（献血後の激しい運動は禁止されています）
- ・自転車での下校途中や、駅の階段・ホームでの転倒事故 …… 心配です！

初めての献血でドキドキしながら受付をすませ献血車へ。ちょっと気分が悪いと思ったけど、口に出せないでいたらだんだん意識が遠のいて……。頭が下がっていく私を見て、隣のベッドの友達があわてて看護師さんを選んでくれたの。

16歳になってから毎年1～2回は献血してきました。今年は18歳なので自信满满に400ml献血に挑戦。でも、しばらくして冷や汗が出て…途中リタイア



希望者のみが献血するといっても、学校という集団の場では「みんなが献血するのに自分がしないのは…」 「みんなが献血するなら私も…」 というピアプレッシャーが働きがちです。また、「献血はよいこと」「献血は誰にもできるボランティア」といった呼びかけによって、目に見えない強制力が強まります。

献血による健康被害 ～ 避けられない副作用について ～

ある県では、2008年度、校内献血実施校の21%の学校で健康被害が発生し、教育委員会は高校現場に注意を促すために、健康被害の発生事例を示し文書で通知しました。

2007年度に献血した496万人のうち、平成18年10月より始まった日赤の救済制度の対象は710件（全体の0.014%）でした。これらは医療機関を要した例です。長期の入院を要する例もありました。

VVR (136件) VVR転倒 (136件) 神経損傷 (107件)

皮下出血 (98件) 神経障害 (72件) 穿刺部痛 (41件) 他

献血後にVVR（血管迷走神経反応）によって転倒し、重症や死亡に至った例も起きています。献血を管轄する厚生労働省は、高校集団献血における事故の発生は報告されていないとしていますが、正確な実態把握がされていないのが現状です。

* VVR:献血者の心理的緊張や不安などが原因となって起こる、気分不良・顔面蒼白・冷汗・悪心・嘔吐・意識喪失・けいれんなどの症状。採血後時間が経って起こることもあり、初回献血では特に注意が必要。